

2025年12月期 通期 決算説明資料

GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社
証券コード：3788（東証プライム）

エグゼクティブサマリー

業績

売上・営業利益ともに過去最高実績

2026年度

着実なストック積み上げで増収増益を予想

事業

重点商材が好調に推移

2026年度

継続的なシェア拡大と単価向上を目指す

株主還元

配当予想の上方修正

2026年度

株主資本配当率（DOE）基準を追加導入

目次

01 エグゼクティブサマリー

02 2025年12月期 通期決算実績

セグメント概況

03 2026年12月期見通し

04 注力商材の状況

電子認証事業・SSL・クライアント認証 (GlobalSign)

ログイン認証強化サービス (GMOトラスト・ログイン)

電子契約サービス (電子印鑑GMOサイン)

マネージドクラウドサービス (CloudCREW byGMO)



2025年12月期 通期決算実績

売上高・営業利益、過去最高を更新。通期業績予想を達成。 重点商材は高成長を維持。

売上高

20,670百万円 前年同期比 **7.9%増**

- 電子認証・印鑑事業が成長を牽引

営業利益

1,475百万円 前年同期比 **18.3%増**

- 増収効果に加え、販管費の運用効率化により営業利益は大幅伸長

重点商材

電子印鑑GMOサイン

31.3%増

GMOトラスト・ログイン

33.3%増

※通期売上対前年比

売上・利益ともに通期業績予想を達成し、増配を決定

(百万円)	2024年通期実績	2025年通期実績	前年同期比	2025年通期予想	達成率
売上高	19,166	20,670	+7.9%	20,397	101.3%
営業利益	1,246	1,475	+18.3%	1,434	102.8%
経常利益	1,297	1,435	+10.6%	1,422	100.9%
親会社株式に帰属する 当期純利益	854	1,005	+17.6%	880	114.2%
EBITDA※	2,037	2,236	+9.8%	-	-

※EBITDA：営業利益と減価償却費の合計値

電子認証・印鑑事業は、日米・重点商材が牽引し増収。 クラウドインフラ事業は、CloudCREW好調により増収増益。

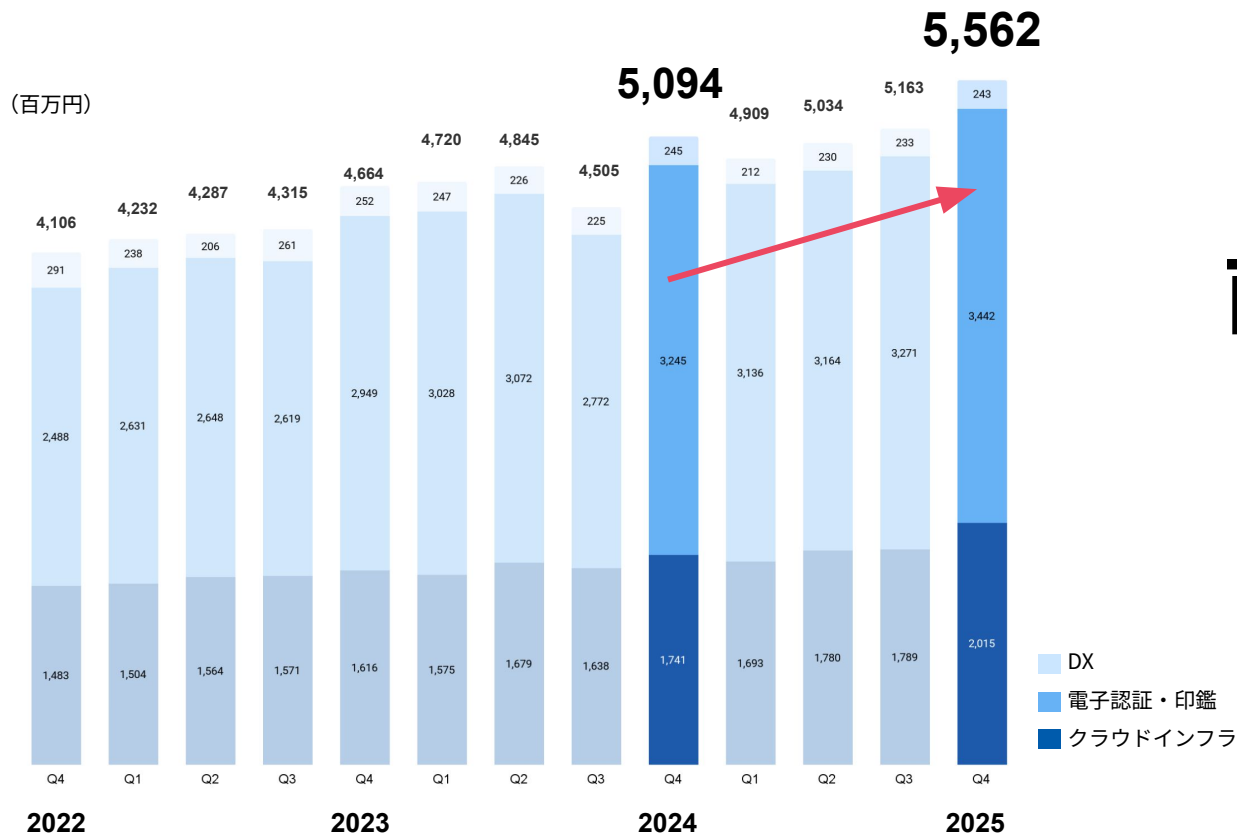
売上高

セグメント	2024年通期	2025年通期	前年同期比
電子認証・ 印鑑	12,120	13,016	+7.4%
クラウド インフラ	6,634	7,279	+9.7%
DX	944	919	▲2.7%
消去又は 全社	▲533	▲543	—
連結計	19,166	20,670	+7.9%

営業利益

セグメント	2024年通期	2025年通期	前年同期比
電子認証・ 印鑑	1,151	1,343	+16.7%
クラウド インフラ	154	194	+25.7%
DX	▲72	▲89	—
消去又は 全社	13	26	—
連結計	1,246	1,475	+18.3%

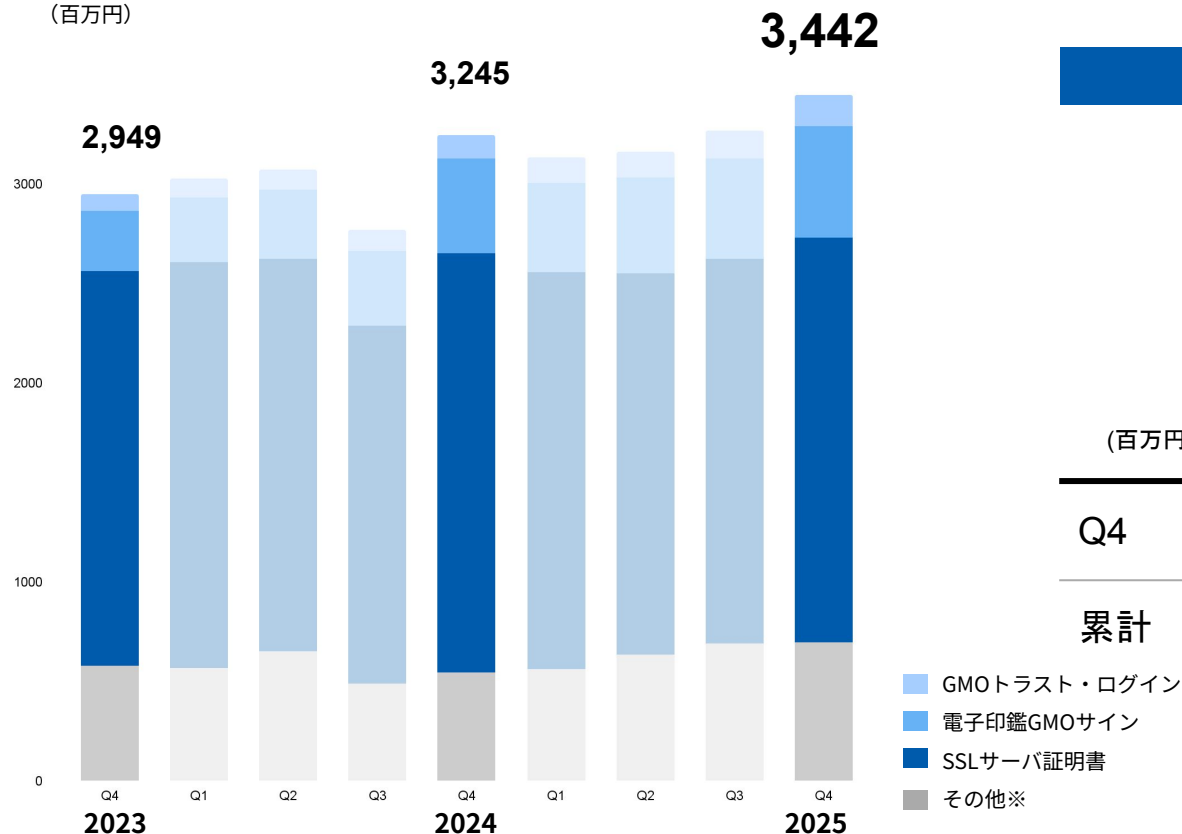
四半期売上高推移



前年同期比
9.2%増
(25Q3比7.7%増)

重点商材（電子契約、ログイン認証サービス）が順調に成長

(百万円)



電子認証・印鑑事業 売上高

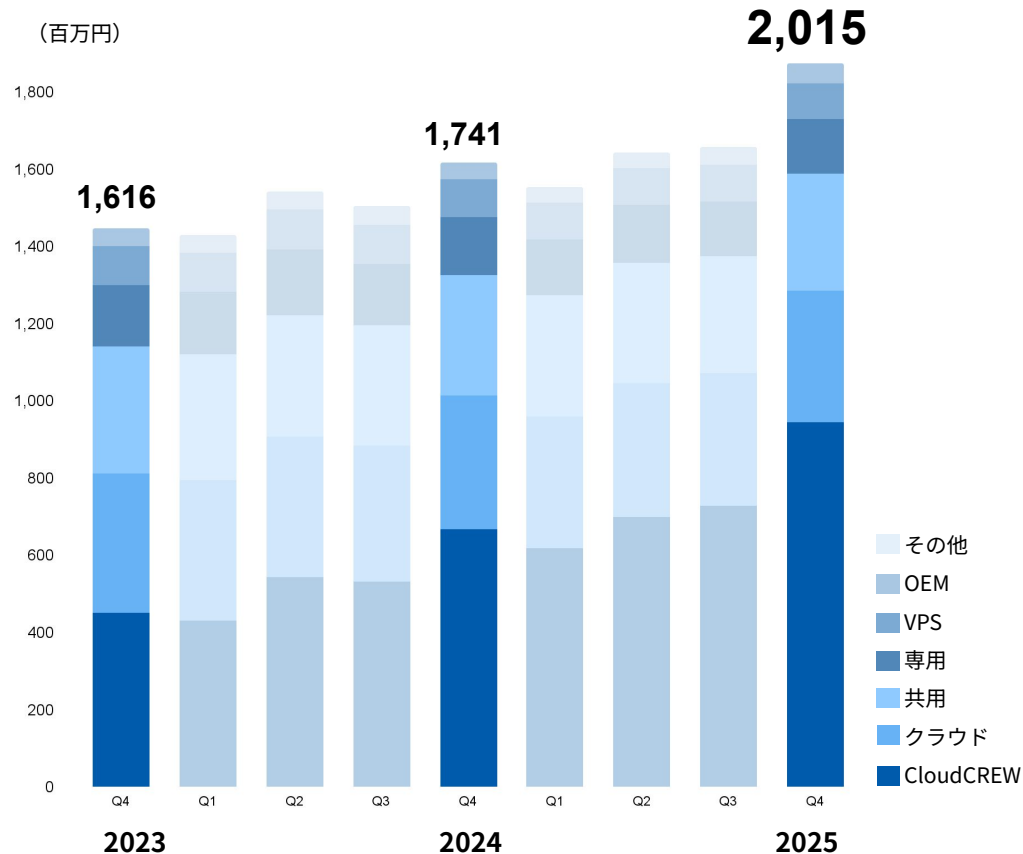
前年同期比
6.0%増

(百万円)	2024	2025	増減率
Q4	3,245	3,442	+6.0%
累計	12,120	13,016	+7.4%

※ 電子署名サービス（電子印鑑ソリューションDSS）、クライアント証明書等の売上高

CloudCREW byGMOが高成長。事業全体を牽引。

(百万円)



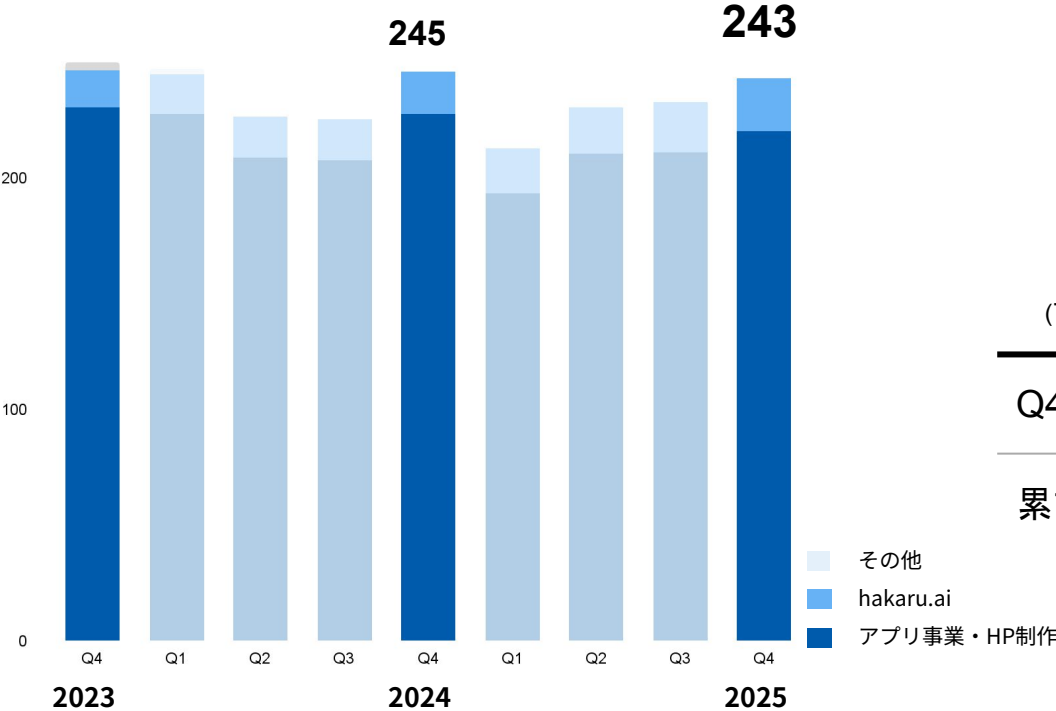
クラウドインフラ事業 売上高

前年同期比
15.8%増

(百万円)	2024	2025	増減率
Q4	1,741	2,015	+15.8%
累計	6,634	7,279	+9.7%

O2Oアプリにおける上期期ズレを解消しほぼ予想どおりに進捗。 対Q3比は4.3%増。

(百万円)

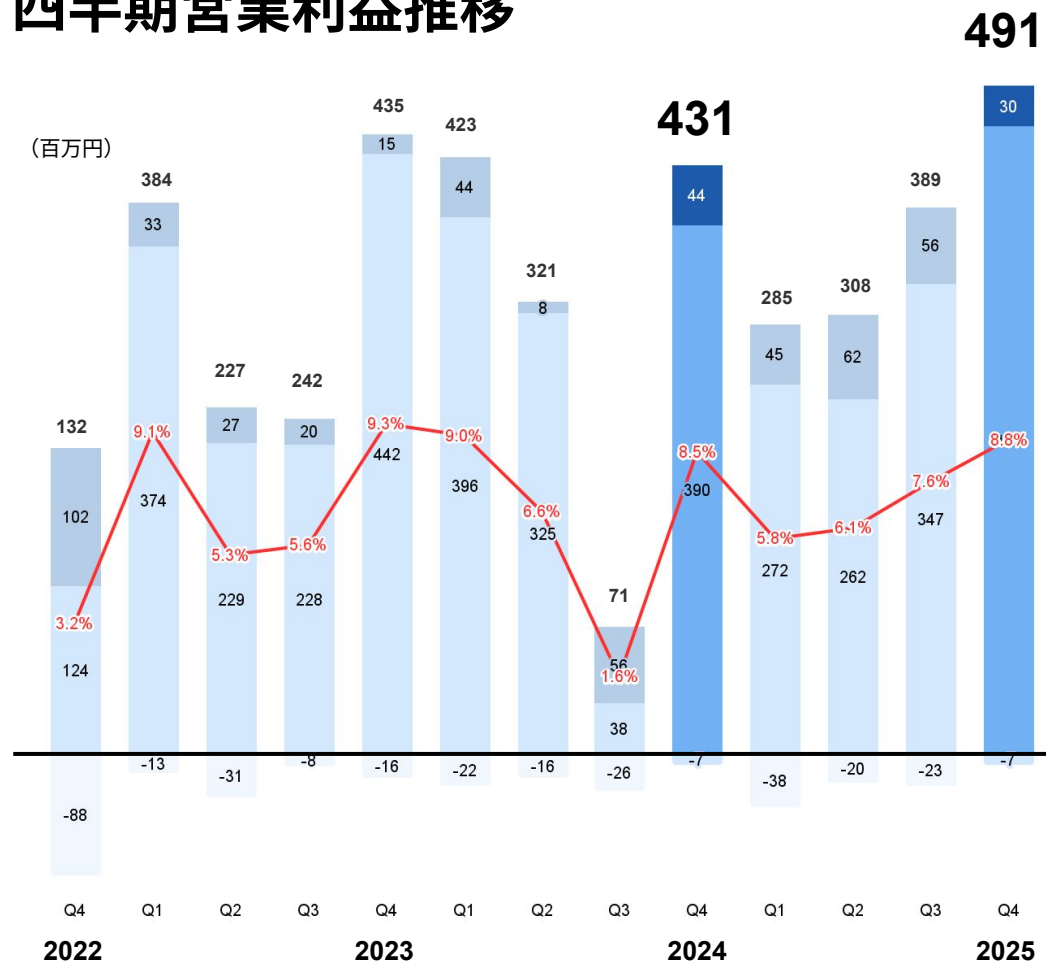


DX事業 売上高

前年同期比
1.1%減

(百万円)	2024	2025	増減率
Q4	245	243	▲ 1.1%
累計	944	919	▲ 2.7%

四半期営業利益推移



前年同期比
14.0%増
 (25Q3比26.0%増)

- クラウドインフラ
- 電子認証・印鑑
- DX
- 売上高営業利益率

A decorative graphic on the left side of the slide, consisting of several overlapping, curved, wavy shapes in various shades of blue, ranging from a deep navy blue to a bright sky blue.

2026年12月期見通し

生成AI時代に際立つ「信頼の基盤」と「成長のエンジン」

1.代替不可能な「信頼の基盤」

AIによる模倣困難性 **高**

グローバル実績の
電子認証局

+

耐量子暗号
先行投資

参入障壁の確立

先行優位性

2.巨大市場を捉える「成長エンジン」

持続成長分野の成長性 **高**

国内クラウド市場予測（IDC）
2029年に約19兆円規模

売上成長加速・市場シェア拡大

安定収益基盤×成長市場への投資＝強固な財務と成長の両立

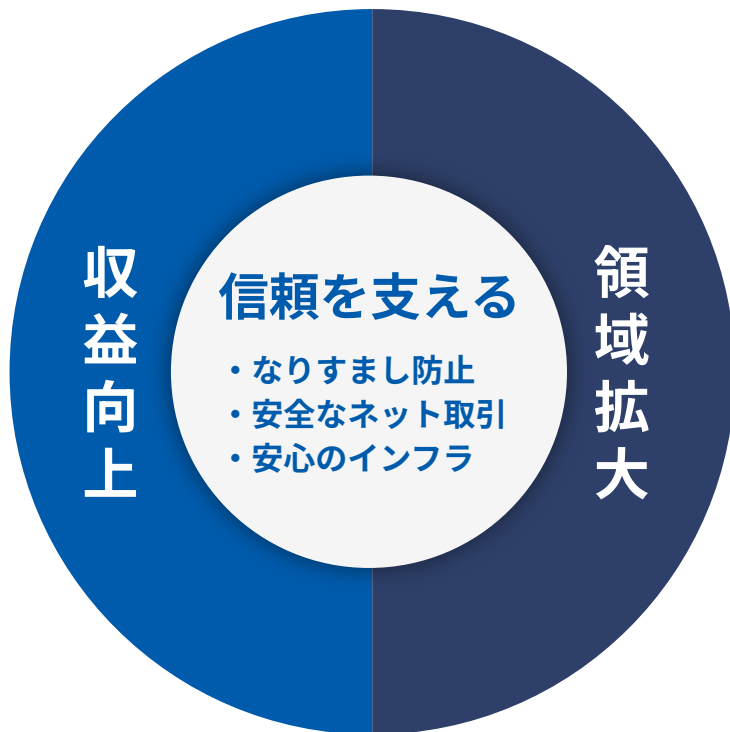
「信頼を支える社会インフラ」として、 収益向上と領域拡大の両軸で企業成長を目指す

顧客単価向上

- ・電子契約サービス、
高セキュリティプランの提供
- ・電子認証サービス、証明書
管理システムの提供

利益率向上

- ・マネージドクラウドサービ
ス、メニュー追加により強化



金融・医療へ展開

- ・電子契約サービス、電子署名
の利用シーン拡大

顧客IDアクセス管理 への範囲拡大

- ・ログイン認証サービス、取引
先ID・アクセスも管理可能に

海外販売を強化

- ・なりすましメールを防止する、
企業ロゴ証明書（VMC）を
海外拡販

売上高・経常利益ともに前年同水準で安定成長の見込み

(百万円)	2025年12月期 (実績)	2026年12月期 (予想)	2025年比
売上高	20,670	22,286	+ 7.8%
営業利益	1,475	1,622	+ 10.0%
経常利益	1,435	1,589	+ 10.7%
親会社帰属利益	1,005	1,052	+ 4.7%
1株当たり 純利益(円)	87.55	91.79	-

セキュリティを軸に全セグメントで成長拡大を目指す

クラウドインフラセグメントはサービスの刷新に伴い一時的に減益

売上高

セグメント	2025年12月期 (実績)	2026年通期	前年同期比
電子認証・ 印鑑	13,016	14,353	+10.3%
クラウド インフラ	7,279	7,482	+2.8%
DX	919	1,046	+13.8%
消去又は 全社	▲543	▲597	—
連結計	20,670	22,286	+7.8%

営業利益

セグメント	2025年12月期 (実績)	2026年通期	前年同期比
電子認証・ 印鑑	1,343	1,612	+20.0%
クラウド インフラ	194	0	+0%
DX	▲89	▲48	—
消去又は 全社	26	58	—
連結計	1,475	1,622	+10.0%

注力商材の状況

- 電子認証事業・SSL・クライアント認証（GlobalSign）
- ログイン認証強化サービス（GMOトラスト・ログイン）
- 電子契約サービス（電子印鑑GMOサイン）
- マネージドクラウドサービス（CloudCREW byGMO）



電子認証事業・SSL・クライアント認証



証明書管理・なりすまし防止などの社会課題に取り組む


国内
シェア

No. 1 ※1

日本発、世界が信頼する電子認証局 ※2

※1 電子署名法に基づく電子署名およびタイムスタンプが付与された契約の累計送信件数（タイムスタンプのみの契約を除く。主な立会人型電子署名サービスが対象）GMOリサーチ&AI株式会社調べ（2024年12月） ※2 世界シェア4位。英Netcraft社「Netcraft SSL Survey」調べ 有償発行枚数

運用実績 **30**年

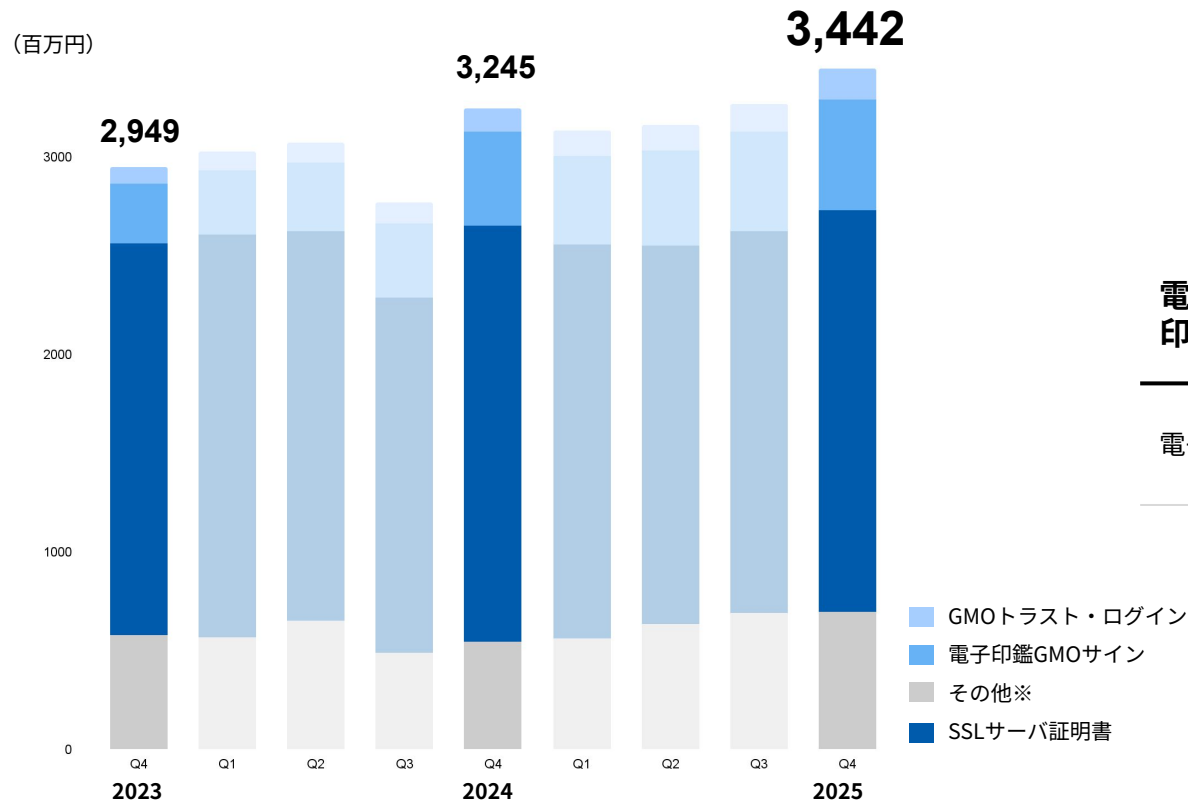
2025年実績

- 日本、北米を中心に売上好調。
欧州は前年の減収影響回復。
- グローバルで開発拠点を最適化。
AI活用により人材配置を合理化。

2026年取り組み

- 証明書の発行から更新までを一元管理、
証明書ライフサイクルマネジメント戦略
- 企業ロゴ所有証明書（VMC）を
国内・海外でさらに拡販強化

高い収益性を維持し、着実にキャッシュを生み出す「岩盤事業」



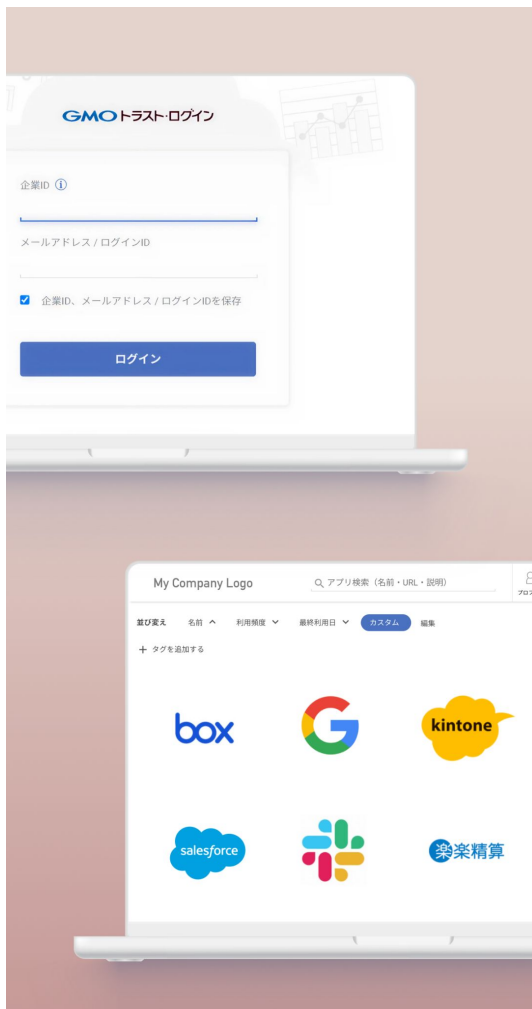
電子認証・
印鑑事業

3,442百万円
(対前年同期比 +197百万円 +6.0%)

電子認証事業

2,725百万円
(対前年同期比 +73百万円 +2.7%)

※ 電子署名サービス（電子印鑑ソリューションDSS）、クライアント証明書等の売上高



ログイン認証サービス

GMOトラスト・ログイン

サービス品質向上、機能拡充により成長。新しい社会ニーズにも注力



ITreview SSO (シングルサインオン)
カテゴリーレポート 2026 Winter



ITreview SSO (シングルサインオン)
カテゴリーレポート 2026 Winter



ITreview SSO (シングルサインオン)
カテゴリーレポート 2026 Winter

2025年実績

- 設定サービス、機能の拡充による単価向上
- SaaS管理サービスによる顧客数拡大、安定的な成長軌道

2026年取り組み

- 外部顧客IDアクセス管理（CIAM）分野への展開を通じ、顧客基盤拡大

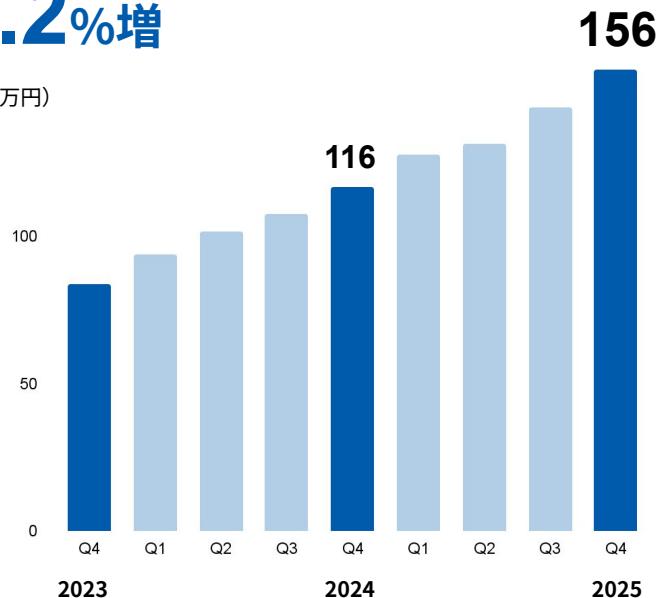
サポートオプションの販売等による 単価アップ×契約数増加により増収

売上高

前年同期比

34.2%増

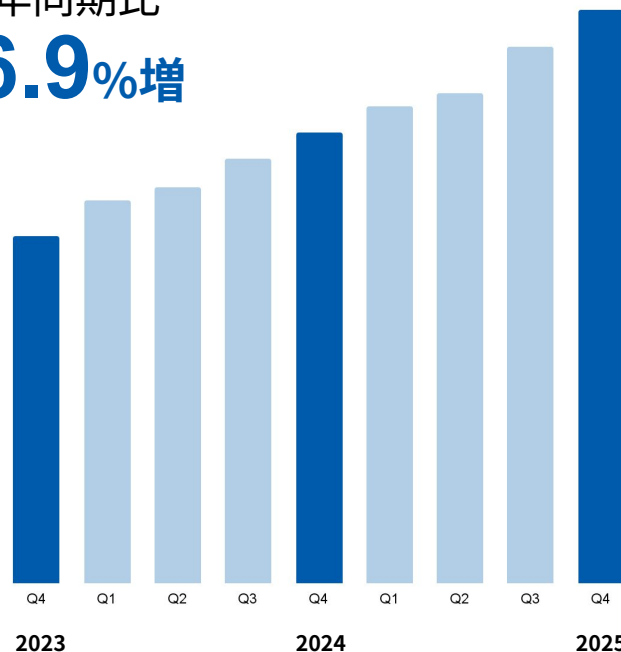
(百万円)



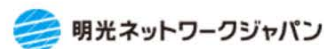
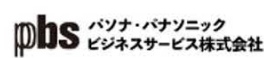
有料ID数

前年同期比

26.9%増

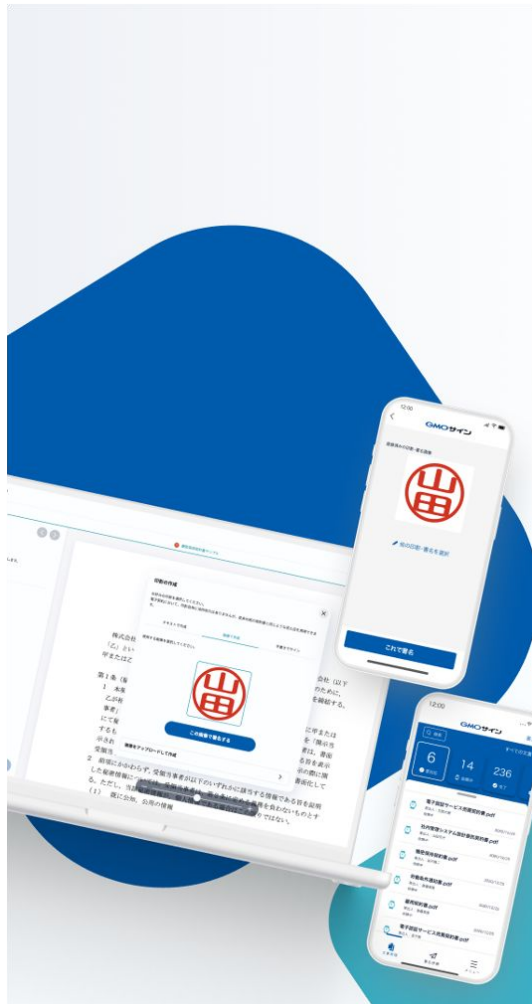


大企業から数十人規模まで、導入いただいています。



電子契約サービス

電子印鑑なら
GMOサイン



新プランによる平均単価向上、利用シーン拡大により成長を加速

もっとも使われている電子契約サービス



※1 電子署名法に基づく電子署名およびタイムスタンプが付与された契約の累計送信件数（タイムスタンプのみの契約を除く。主な立会人型電子署名サービスが対象）GMOリサーチ&AI株式会社調べ（2024年12月）

2025年実績

- ARR 前年同期比24.4%増と安定成長、岩盤ストック収益の拡大
- プラン改定により単価向上
収益率向上の見込み

2026年取り組み

- 収益化フェーズに本格移行し、成長が加速

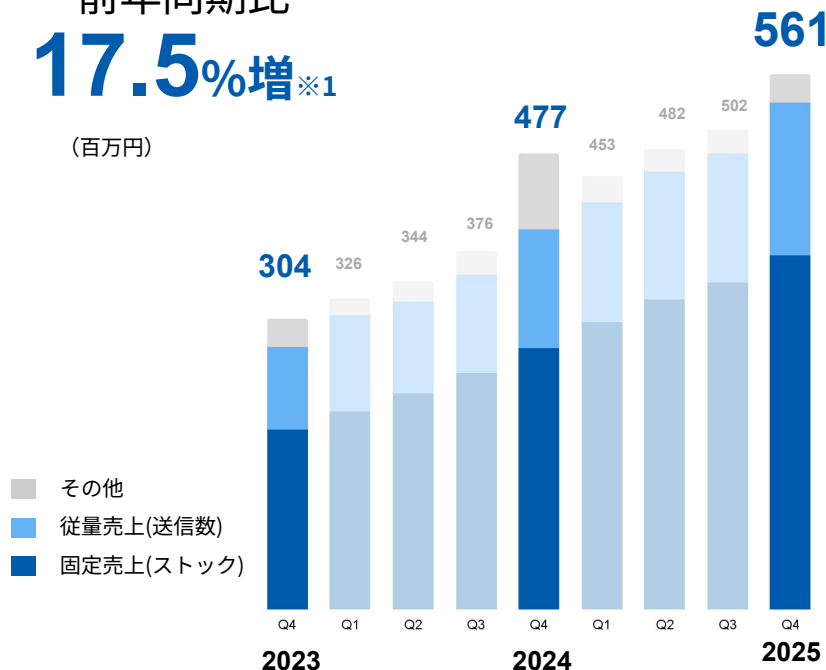
ARR 24.4%増の高成長を継続、岩盤ストック収益の拡大

売上高

前年同期比

17.5%増※1

(百万円)

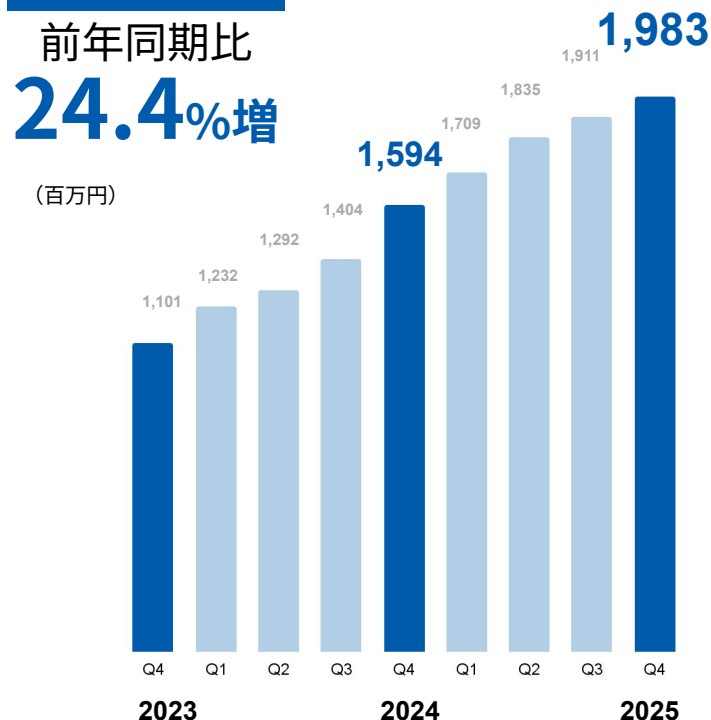


ARR※2

前年同期比

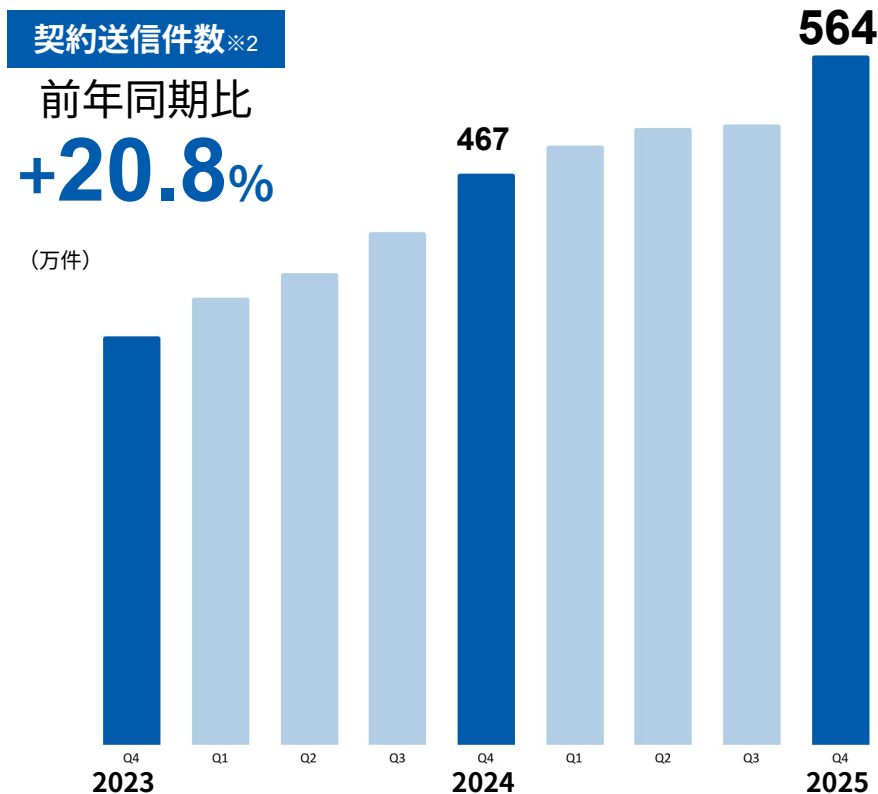
24.4%増

(百万円)



※1 前年同期に大型案件による上振れ要因があった影響で成長率が低くなっています ※2 Annual Recurring Revenue の略称。各四半期の平均売上（一時収益を含まない）を12倍して算出。

契約の送信数も堅調に増加。電子署名利用シーンも拡大



国内上場企業の
約**80%**が
利用中

累計 **5,000** 万件 送信達成

契約送信件数 **No.1**

※ 電子署名法に基づく電子署名およびタイムスタンプが付与された契約の累計送信件数（タイムスタンプのみの契約を除く。主な立会人型電子署名サービスが対象）GMOリサーチ&AI株式会社調べ（2024年12月）

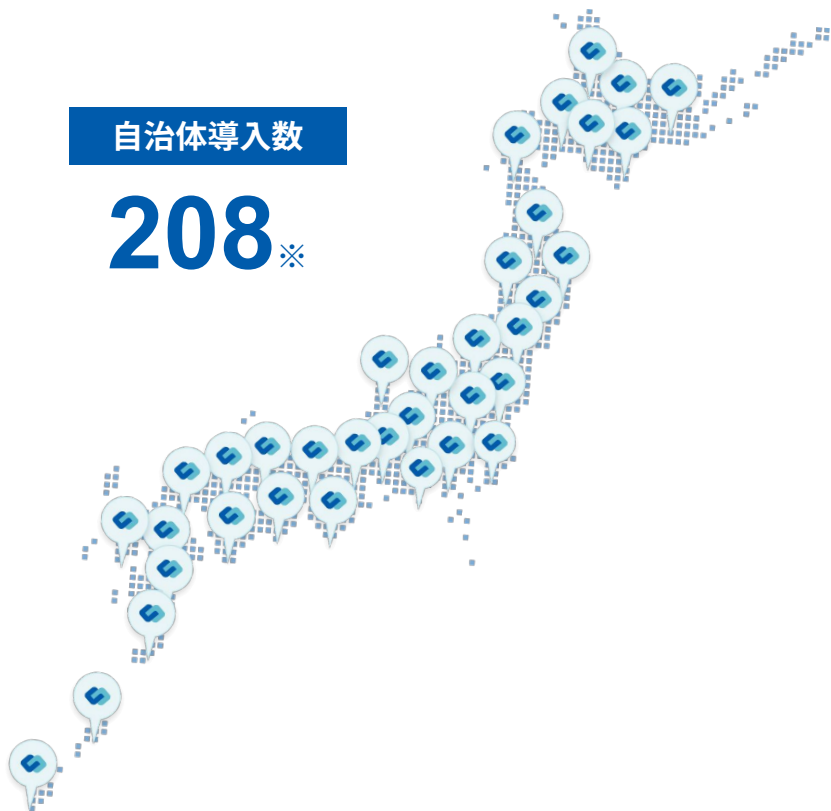
※2 四半期毎の契約送信件数を集計。2025年第1四半期における大量のテスト送信（無料）を除外して集計。

※3 2026年1月末時点「GMOサイン」利用企業数3,196社と2025年1月末時点日本証券取引所の公式サイトで公表中の上場企業数3,933社から算出

電子公印とセキュリティ認証で自治体導入数でも**No.1**を目指す

自治体導入数

208※



導入自治体（一部抜粋）

東京都 北海道 大阪府 群馬県 神奈川県
静岡県 滋賀県 岡山県 山口県 熊本県 大分県

取得済認証一覧

- ISO/IEC27001（情報セキュリティ）
- ISO/IEC27017（クラウドサービスセキュリティ）
- ISMAP登録
- SOC2 Type2保証報告書受領
- JIIMA認証

LGWAN（総合行政ネットワーク）対応

※ 2026年1月31日時点で「電子印鑑GMOサイン」または「GMOサイン電子公印」を有償契約している公共団体

金融機関・不動産業界・小売業など多くの大手企業に導入

MIZUHO みずほ銀行

大和証券
Daiwa Securities

MUFG 三菱UFJ銀行

よろこびがつなが世界へ
KIRIN

BMW GROUP
MINI

LINEヤフー

kikkoman

Menicon

横浜銀行

東急リバブル

ORIX オリックス生命

Mizuno

TIFFNESS フィットネスクラブ
ティップネス

in 鹿島
KAJIMA CORPORATION

ヤマト運輸

Francfranc

UNITED ARROWS LTD.

「心躍る」を
解き放つ **HIS**

PASONA

G
移動で人を幸せに。

毎日コムネット

OPEN HOUSE

NEDO

三井住友トラスト不動産

DAISO
ダイソー

CURRY HOUSE
CoCo壱番屋

MISAWA ミサワホーム

KEIO 京王電鉄

CAINZ

YAMADA HOMES

YKK ap

H₂O
RETAILING



マネージドクラウドサービス



高利益率マネージドサービスが好調。セキュリティを軸に加速。



- Solution Provider
- Managed Service Provider
- Public Sector Solution Provider
- Well-Architected Partner Program
- Small and Medium Business Services Competency
- Migration and Modernization Services Competency

前年比売上
37.4%成長

2025年実績

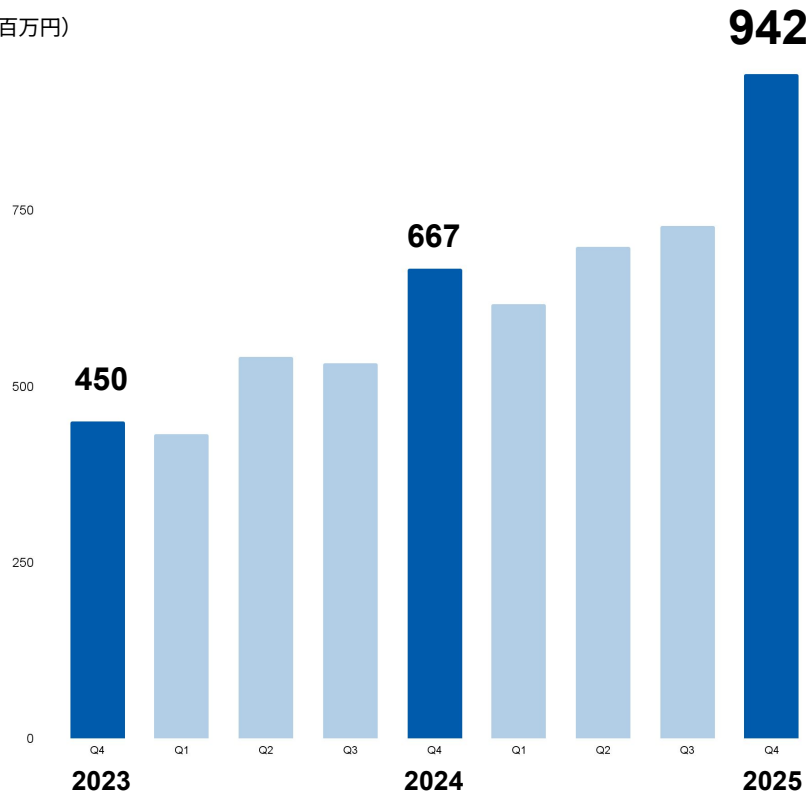
- 高利益率のマネージドサービス比率拡大により収益性が向上。
- GMOインターネットグループのシナジー効果により公共・大型案件が増加。
(主にGMOサイバーセキュリティbyイエラエ社、GMOブランドセキュリティ社)

2026年取り組み

- 積極的な人材投資を継続。
一段上の成長軌道へ

マネージドサービスの好調により、強い成長モメンタムを維持

(百万円)



売上高

前年同期比

41.3%増

(百万円)	2024	2025	増減率
Q4	667	942	+41.3%
累計	2,173	2,986	+37.4%

売上高・営業利益、過去最高を更新。通期業績予想を達成。 重点商材は高成長を維持。

売上高

20,670百万円 前年同期比 **7.9%増**

- 電子認証・印鑑事業が成長を牽引

営業利益

1,475百万円 前年同期比 **18.3%増**

- 増収効果に加え、販管費の運用効率化により営業利益は大幅伸長

重点商材

電子印鑑GMOサイン

31.3%増

GMOトラスト・ログイン

33.3%増

※通期売上対前年比

2040年、信頼できる社会インフラ企業へ

Next 2040

信頼を設計し、世界をつなぐ。

Designing trust. Connecting the world.

私たちは、インターネットが信頼できる情報でつながり、透明性のある世界を目指しています。
それは、見えない信頼を、確かな技術で「設計」し、誰もが安心して使える仕組みにすること。
信頼に満ちた社会インフラの発展に貢献し、この領域で世界シェアNo.1に挑みます。

コトをITで変えていく。



参考資料

参考資料目次

- 会社概要
- 企業理念
- 当社の強み
- 事業領域（主要サービス）
- サービス紹介
- 連結損益計算書
- 連結貸借対照表
- 営業利益増減分析
- 販売管理費及び一般管理費の四半期推移
- Q3セグメント別予想対比
- GMOグローバルサイン・ホールディングスの情報発信メディア一覧
- 免責事項

GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社

証券コード	3788（東証プライム）
設立	1997年5月（当時：株式会社アイル）
事業内容	電子認証・印鑑事業（盗聴・改ざん・なりすまし防止・ログイン認証強化、電子契約） クラウドインフラ事業（クラウド・レンタルサーバー） DX事業（O2Oアプリ、IoT関連）
主要株主	GMOインターネットグループ株式会社（東証プライム：9449） ※2001年5月 GMOインターネットグループへ参加
連結企業群	15社 連結12社（国内5社、海外7社）非連結3社（2025年12月末現在）
パートナー数	990名（2025年12月末現在）非連結含 正社員数のみ



One GlobalSign Way

企業理念

Mission

私たちの使命

コトをITで変えていく

この地球の果てから果てまで、すべての人に私たちのサービスを届けたい。
どんなに優れたITサービスでも、一部の人にしか使えないのでは意味がありません。

もっと気軽に、もっとわかりやすく。ありとあらゆる人々に。

新たな体験価値に出会って欲しい。

それは、私たちの創業時からの変わらぬ願いです。

ITのチカラが私たちの身の回りで起こるコトを変えていく。

その変化がアタリマエになった時、どんな社会が実現するのでしょうか？

コトをITで変えていく。

便利で豊かな笑顔ある社会を広げていく。

それは未来永劫にわたる、私たちの使命です。

Value

私たちの価値観

ワクワク

Vision

私たちの目指す姿

One & 1st

One

ひとつになろう。
インターネットという広大な空の下、新たに生まれた事業は、それぞれに大きくなってきました。
これからも画期的な価値を社会に提供していきたい。
そのためにひとつという思いを共有し、シナジーを生み出せれば、もっと面白いこと、もっとすごいことが、きっとできる。

1st

失敗を恐れない。
はじめては誰でもこわい。
誰も挑んだことがないところに、ワクワクがある。
誰もやったことのないコト見慣れたものの中にある誰も気づいていないコトこれまでも、これからも、
私たちは意欲的に「はじめて」を
追い求め、日本初、世界初を生み出していきます。

デジタル社会の 信頼と安全を支える インフラ企業

GMO グローバルサイン・HD
● GlobalSign

私たちは、電子認証を中心に、クラウド、レンタルサーバー、DX、電子印鑑など、社会のデジタル化を下支えするサービスを展開しています。

“見えないところで信頼を設計する”技術力を強みに、安全で透明性のあるインターネット社会の実現に貢献します。

価値成長を生む、当社の強み

1. 国内シェアNo.1、世界が信頼する**電子認証局**を運営
2. 持続的成長を支える22の**岩盤ストック収益**
3. 230超の国と地域で導入実績、**グローバル基盤**

価値成長を生む、当社の強み | 1. 信頼の電子認証局

国内
シェア

No. 1 ※1

日本発、世界が信頼する電子認証局 ※2

※1 電子署名法に基づく電子署名およびタイムスタンプが付与された契約の累計送信件数（タイムスタンプのみの契約を除く。主な立会人型電子署名サービスが対象）GMOリサーチ&AI株式会社調べ（2024年12月） ※2 世界シェア4位。英Netcraft社「Netcraft SSL Survey」調べ 有償発行枚数

運用実績 30年

ウェブブラウザからの高い信頼

GlobalSign
ルート証明書
搭載率

99.9%

 <https://www>

Google

Microsoft

Mozilla |3

GlobalSignの証明書を使用した電子署名数

500 月間
万

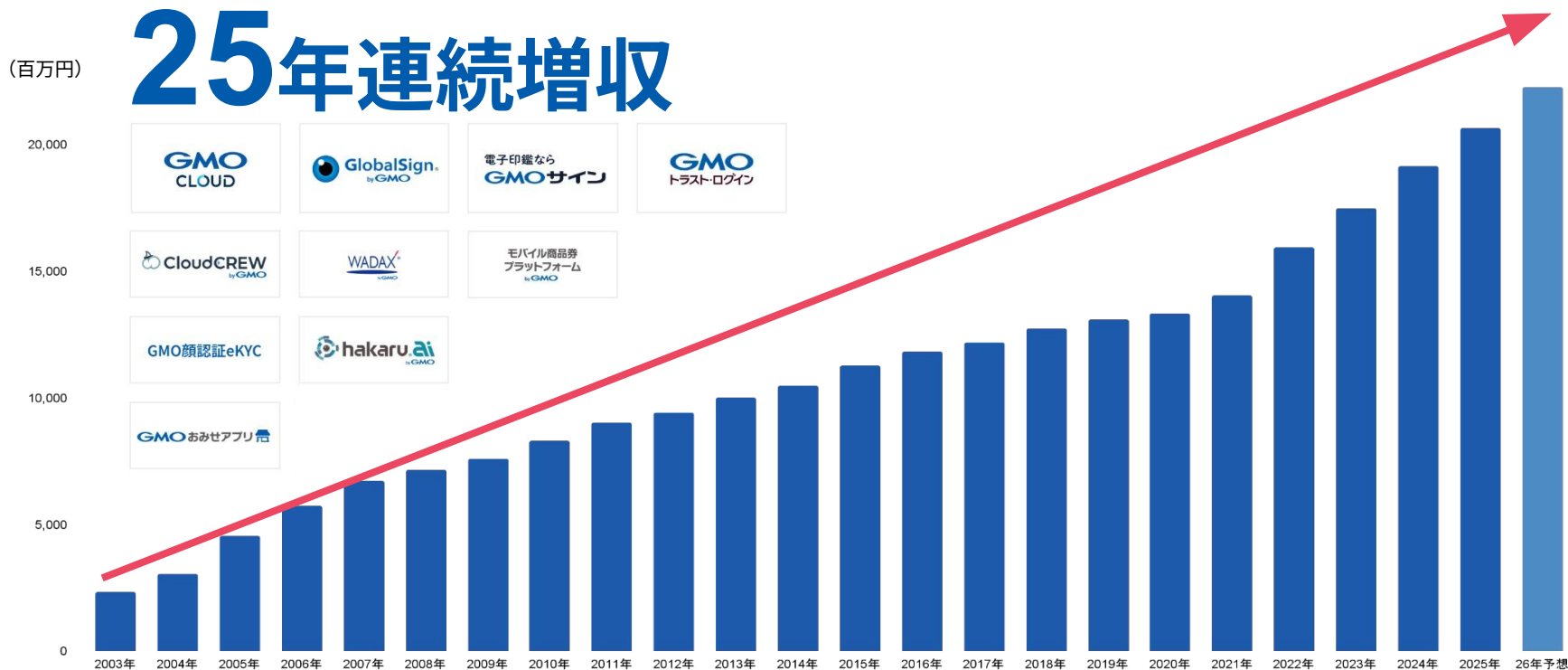
電子印鑑なら
GMOサイン

docusign
Bringing Agreements to Life

Adobe Acrobat Sign

価値成長を生む、当社の強み | 2. 岩盤ストック収益

持続的成長を支える22のストック型事業



価値成長を生む、当社の強み | 2. 岩盤ストック収益

健全な財務体質と、
成長を支える
キャッシュ創出力

自己資本比率

54.6%

ネットキャッシュ

63億円

営業キャッシュフロー

28億円

営業キャッシュフローマージン
13.7%

自己資本比率 : 「純資産÷総資本」企業の財務的健全性や安全性を示す指標。

ネットキャッシュ : 「現金・預金」から「有利子負債」を差し引いた額。企業の金融的余裕や支払い能力を示す指標。

営業キャッシュフロー : 営業活動により得た収支を指し、本業の収益性を示す指標。

※2025年12月末現在



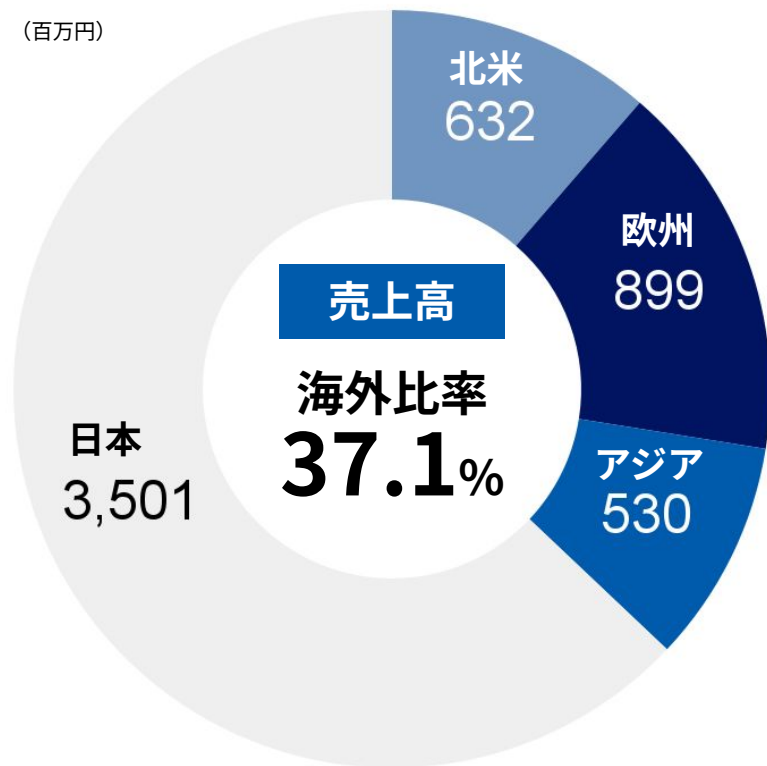
230を超える 国と地域で サービス導入実績



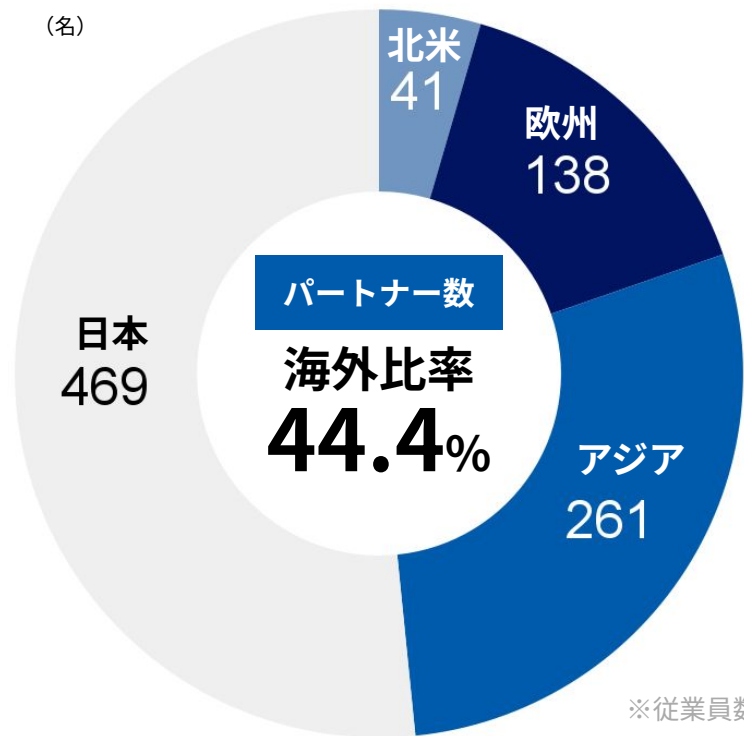
価値成長を生む、当社の強み | 3. グローバル展開

グローバル基盤を活かし、さらなる成長ステージへ

(百万円)



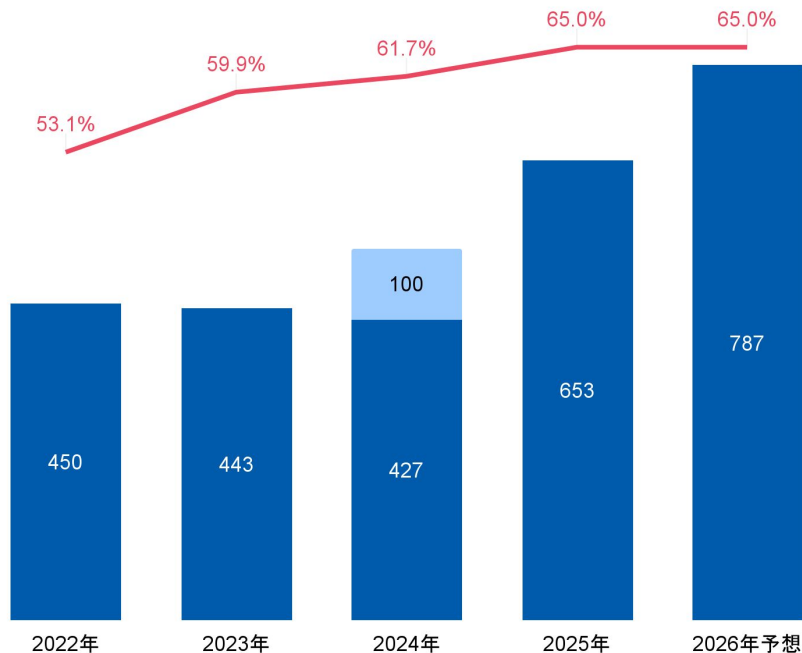
(名)



※従業員数

株主還元の拡充

- 株主還元安定化のため、株主資本配当率（DOE）基準を追加導入。
- 自己株式の取得を実施（取得期間は2025年11月17日～2026年1月30日）



配当性向
65%以上

- 総還元性向 (%)
- 自己株式取得額 (百万円)
- 配当総額 (百万円)

事業領域（主要サービス）

セキュリティでインターネットの安全を支える

電子認証・印鑑事業

電子認証・ID管理



GMOトラスト・ログイン

電子印鑑なら
GMOサイン

クラウドインフラ事業

安全なクラウド基盤の提供



GMO CLOUD

AI・クラウド活用で
企業のDXを支援する

DX事業

より便利で簡単な
AI・クラウドサービスの提供

GMO おみせアプリ

GMO
デジタルPay



電子認証を活用したSSLサーバー証明書

電子認証とは

「誰が」「何を」したかを証明する、認証の基本技術です。

信頼できる第三者（電子認証局）が、人や組織が**本物であることを確かめ、証明書を発行**します。万が一、問題があれば、すぐに無効化もします。

当社はこの仕組みを活用し、見えない相手とも安心してつながれる「**インターネットの防犯システム**」を提供しています。

解説！

SSLサーバー証明書とは

Webサイトが“本物の会社”であることを証明し、安全な通信を保証する仕組みです。

URLが「https://」で始まり、鍵マークが表示されているのは証明書の存在によるものです。

GMOグローバルサインは、この証明書を提供する**国内No.1・世界トップ4の電子認証局**です。



インターネット通信の安全を支える3つの柱を提供

電子認証局

信頼基盤の提供

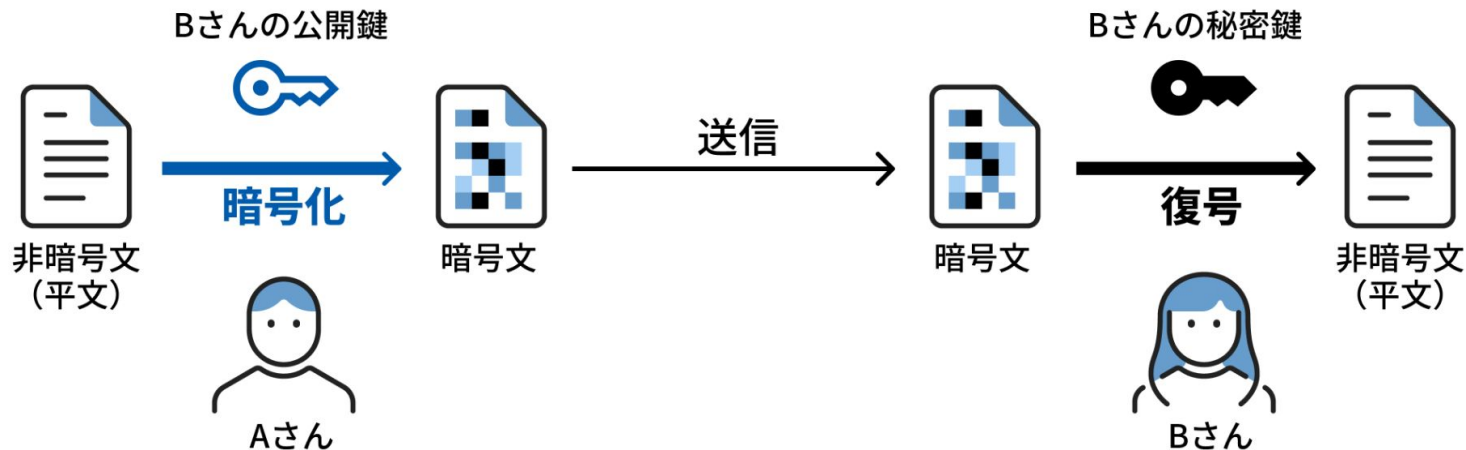
PKI（公開鍵暗号基盤）

暗号技術による
安全な通信の仕組み

SSLサーバー証明書

データを安全にやり取り
するための通信ルール

PKI(公開鍵暗号基盤) の仕組み



さらなるセキュリティ需要にも対応

ネットのセキュリティも

GMO

すべての人に安心な未来を

診断

相談

運用

当社サーバーの他、AWS・Google Cloud
にも対応する、クラウドサーバーのセキュリ
ティマネジメントサービスをご提供

年々高まるセキュリティ需要に対応

GMO CLOUD

 **CloudCREW**
by **GMO**



- Public Sector Solution Provider
- Solution Provider
- Migration Services Competency
- Well-Architected Partner Program

日本初のレンタルサーバーとしてスタートし、29年
の運用実績を誇る老舗ブランド。
クラウド・レンタルサーバーを中心に、多様なニーズ
に応えるラインナップを展開し、サーバーの設定や運
用を代行するサービスも提供しています。

AWSやGoogle Cloudなど複数のクラウド環境を
対象に、運用を代行するマネージドサービスを提供。
セキュリティ対策に関するご相談にも幅広く対応し
ています。

10,000社以上が導入、ログインIDはひとつだけ

シングルサインオン（SSO）とは

解説！

一度のログインで、複数のサービスを安全に利用できる仕組みです。

これまで個別に入力していたIDやパスワードを統一することで、利用者の利便性を高めるとともに、企業のセキュリティ管理を強化します。社員が社内外のさまざまなクラウドサービスを使ういま、業務効率化と情報漏えい防止の両面で欠かせない技術となっています。

増え続けるIDを一言管理、セキュアな業務環境を

一度のログインで複数のサービスを安全に使えるシングルサインオンサービスです。

10,000社以上の導入実績、8,500以上のアプリと連携。

ISO/IEC 27001および27017の国際認証を取得し、過去12か月の稼働率99.99%という高い安定性を実現。さらに、SSL認証局として20年以上の実績を持つGlobalSignのセキュリティ運用ノウハウを基盤としています。



GMO トラスト・ログイン

日本で最も使われている電子契約サービス

電子契約サービスとは

解説!

いままで紙にハンコで押印していた業務を電子化し、業務効率化と印紙税などのコスト削減ができるサービスです。
「だれ」が「いつ」「何に」署名をしたかの証跡を、改ざんができない形でPDF文書に書き込む技術です。この技術を活用し、契約シーンのみにしばられず、公文書交付や、卒業証明書、医療同意書などのシーンへの活用がはじまっています。

確かな署名×豊富な機能×料金比較最良

電子印鑑GMOサインは、「誰が署名したか」を第三者が証明する“確かな署名”と、利便性の高い署名を使い分けられる電子契約サービスです。

当社の電子署名技術、タイムスタンプや認証技術を自社の技術資産を活用することで、安価かつ高品質なサービスを提供しています。

社会の業務効率化と紙削減に貢献し、日本で最も使われている電子契約サービスへと成長しています。



ARR
年間成長率
35~45%

電子印鑑なら
GMOサイン

電子印鑑GMOサインが提供する信頼

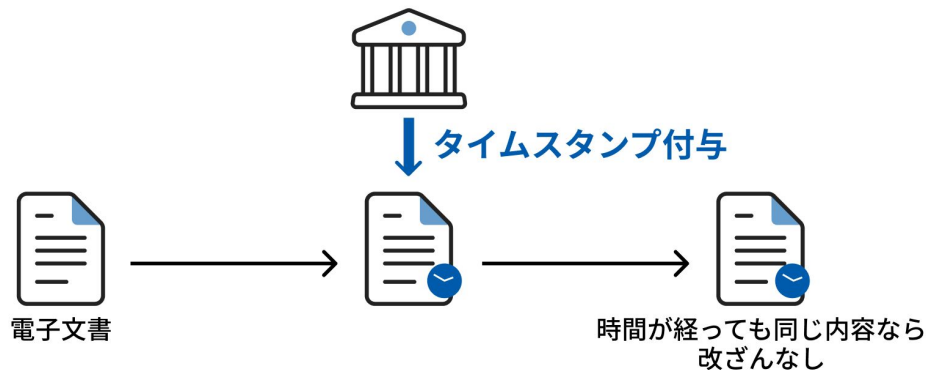
電子署名として一般的なメール認証（立会人型）に加え、実印相当の高い信頼性のある当事者型署名も提供。

非改ざん性を保証するタイムスタンプを標準提供。自社で電子認証局を運営しているからこそできる、信頼性の高い電子契約を提供しています。

電子契約の「安全性」確保



タイムスタンプの仕組み



なりすましメールを防ぐVMC（企業ロゴ所有証明書）

VMC（企業ロゴ所有証明書）とは

近年増加の一方の、**企業になりすました悪意あるフィッシング詐欺メールなどを防止**するため、メールの送り主が確かな企業からであることを証明します。

このVMCにより、メールの受信者は安心して企業からのメールを受け取ることができるようになります。

解説！

なりすましメール対策支援サービス

VMCを使って、企業からのメールにロゴを表示することをBIMI（なりすましメール対策設）といいます。

このBIMI導入するためにはサーバー・DNSなどの専門的な知識が必要となります。この課題を解決すべく、インターネットインフラ運用のノウハウある当社が、**VMCの発行からロゴを表示させる設定までをワンストップで対応**するサービスを提供開始しました。



グローバルサインは、**世界で3社、国内企業唯一、VMC証明書を発行できる電子認証局**です。

高い実績と信頼性が必要となるため、新規参入は難しく、競合は限られています。

あなたの会社、
“なりすまし”
されていませんか？



クラウドインフラ事業が支えるウェブサイト

ご契約アカウント件数

約 **6.6** 万件



インターネットの裏で
企業の信頼を支えています。

サイト維持のあたりまえに
なくてはならない存在として、
インターネットのインフラを守
り続けています。

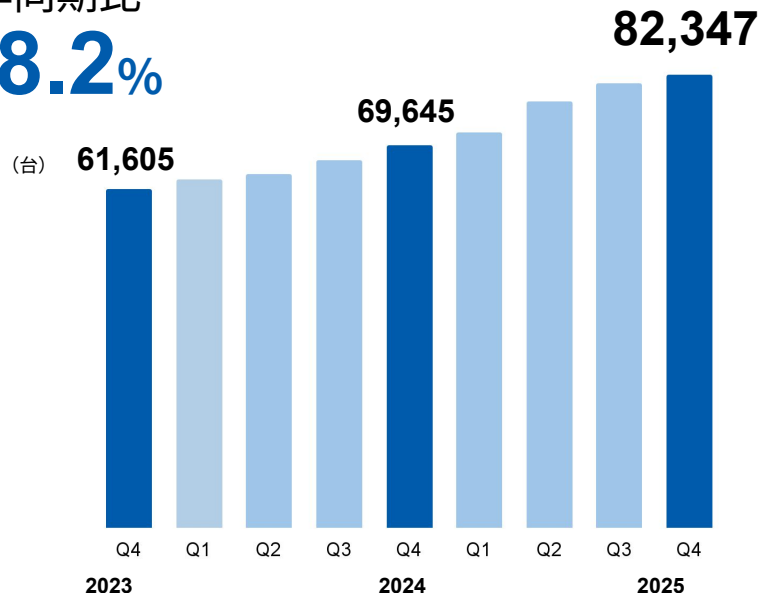
導入実績

- 高齢化による人手不足を背景に、点検現場の“身体拡張テクノロジー”活用が広がり、売上が堅調に推移。

登録メーター数


前年同期比

+18.2%



契約企業（一部抜粋）

 株式会社 菱サ・ビルウェア

 人に、街に、明るい未来を
関電ファシリティーズ


神戸製鋼グループ


ROHM
SEMICONDUCTOR


TAISEI

 B stem
株式会社 ハリマビステム

 SEiBI

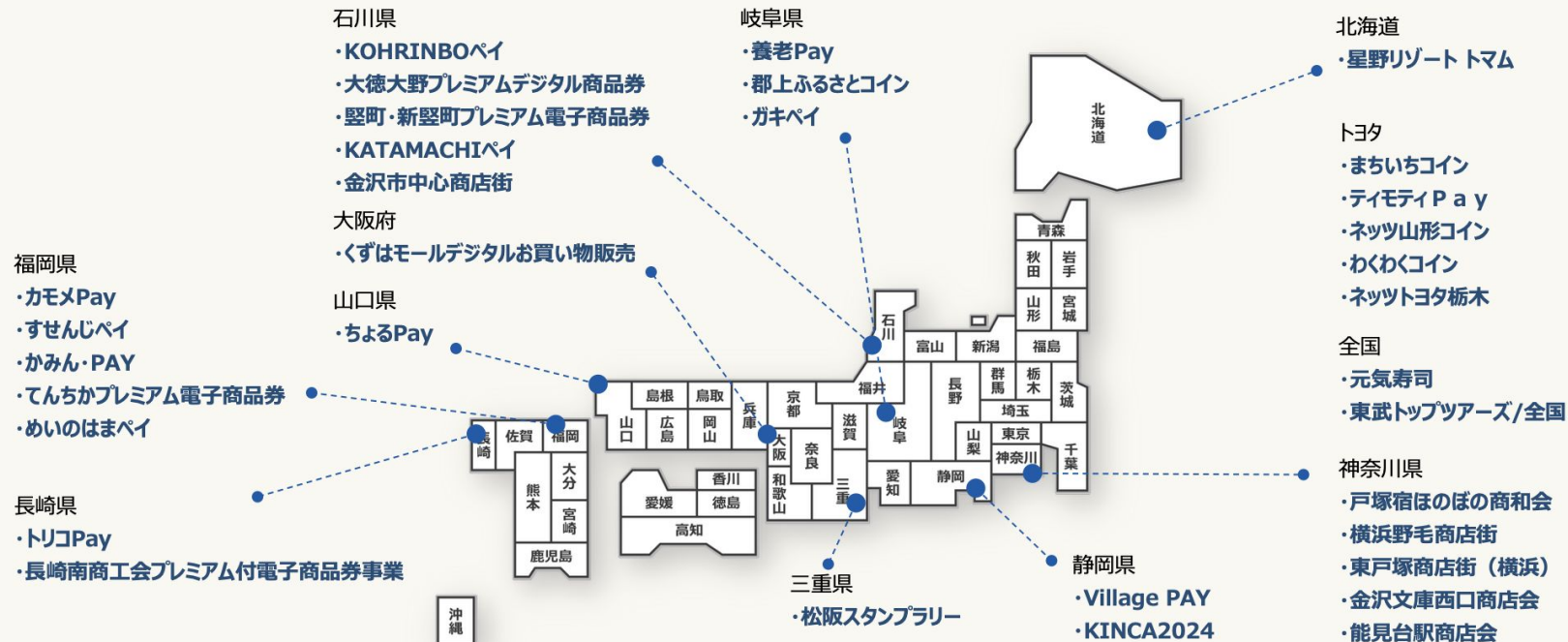

BT
JFE東日本ビルテック

 信頼と実績の総合ビルマネジメント
NTK株式会社

 JFE

 企画開発・設計・施工・管理
株式会社 アドバンス・シティ・プランニング

地方経済の活性化へ貢献、自治体導入実績



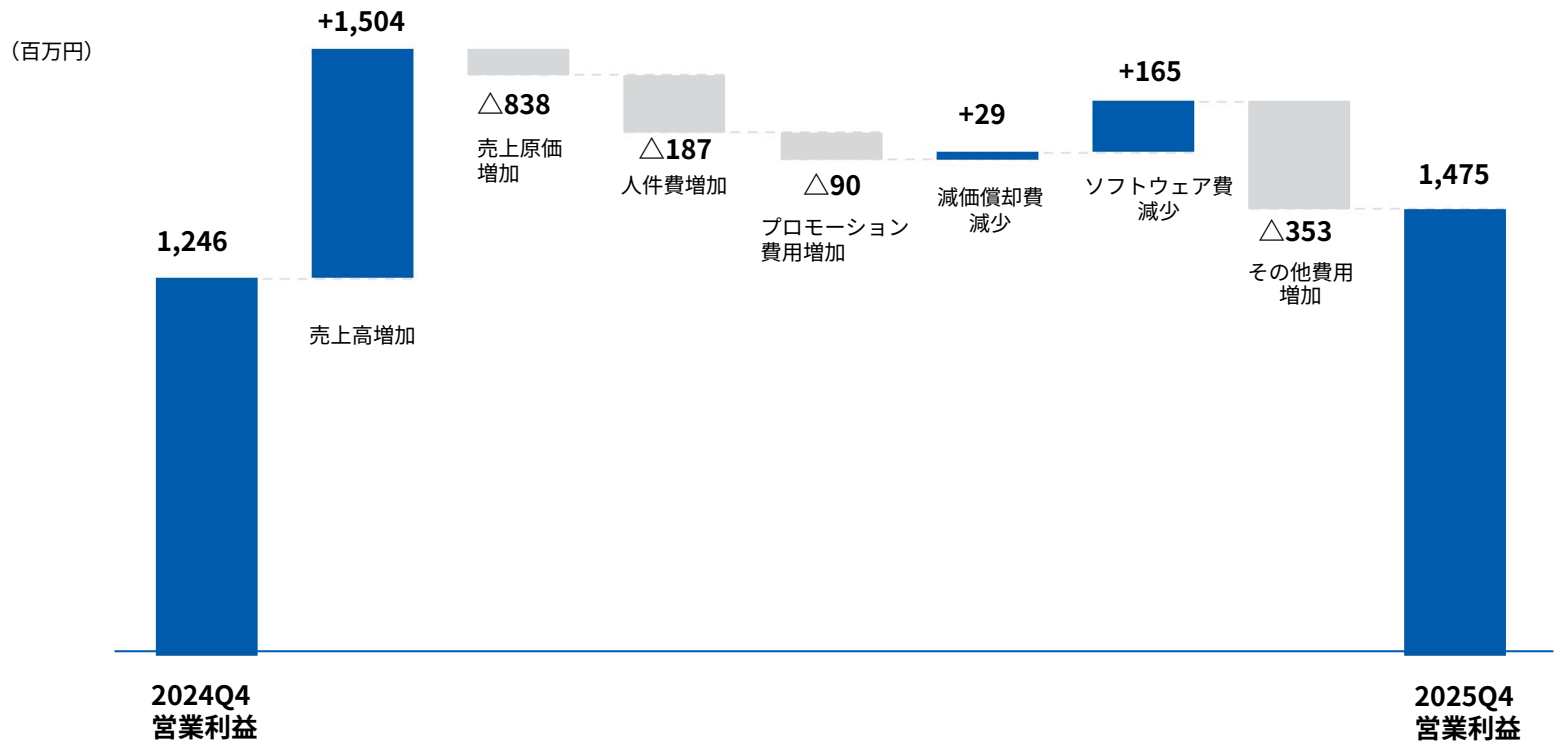
連結損益計算書

単位：百万円	2024年Q4	2025年Q4	増減率
売上高	19,166	20,670	+7.8%
売上原価	7,630	8,469	+11.0%
売上総利益	11,535	12,201	+5.6%
販売費及び一般管理費	10,288	10,725	+4.3%
(人件費)	5,898	6,085	+3.2%
(プロモーション費)	1,203	1,294	+7.6%
(減価償却費)	790	761	△3.7%
営業利益	1,246	1,475	+18.4%
(営業利益率)	6.5%	7.1%	—
経常利益	1,297	1,435	+10.6%
税金等調整前当期純利益	1,262	1,370	+8.6%
法人税等	382	360	△5.6%
親会社に帰属する当期純利益	854	1,005	+17.7%

連結貸借対照表

単位：百万円	2024年12月末	2025年12月末	増減率
流動資産	11,948	12,901	+8.0%
（現金預金）	8,459	8,936	+5.6%
（売掛金及び契約資産）	2,647	2,894	+9.3%
固定資産	6,078	6,061	+5.2%
（ソフトウェア）	4,056	4,275	+5.4%
（投資有価証券）	302	306	+1.4%
資産合計	18,027	18,963	+5.2%
負債	8,539	8,612	+0.9%
（契約負債）	2,754	2,922	+6.1%
（借入＋リース債務）	3,016	2,695	△10.6%
純資産	9,487	10,350	+9.0%
（株主資本）	7,649	8,227	+7.6%
（その他包括利益）	1,811	2,100	+16.1%
（非支配株主持分）	26	22	△15.4%
負債・純資産合計	18,027	18,963	+5.2%

営業利益増減分析

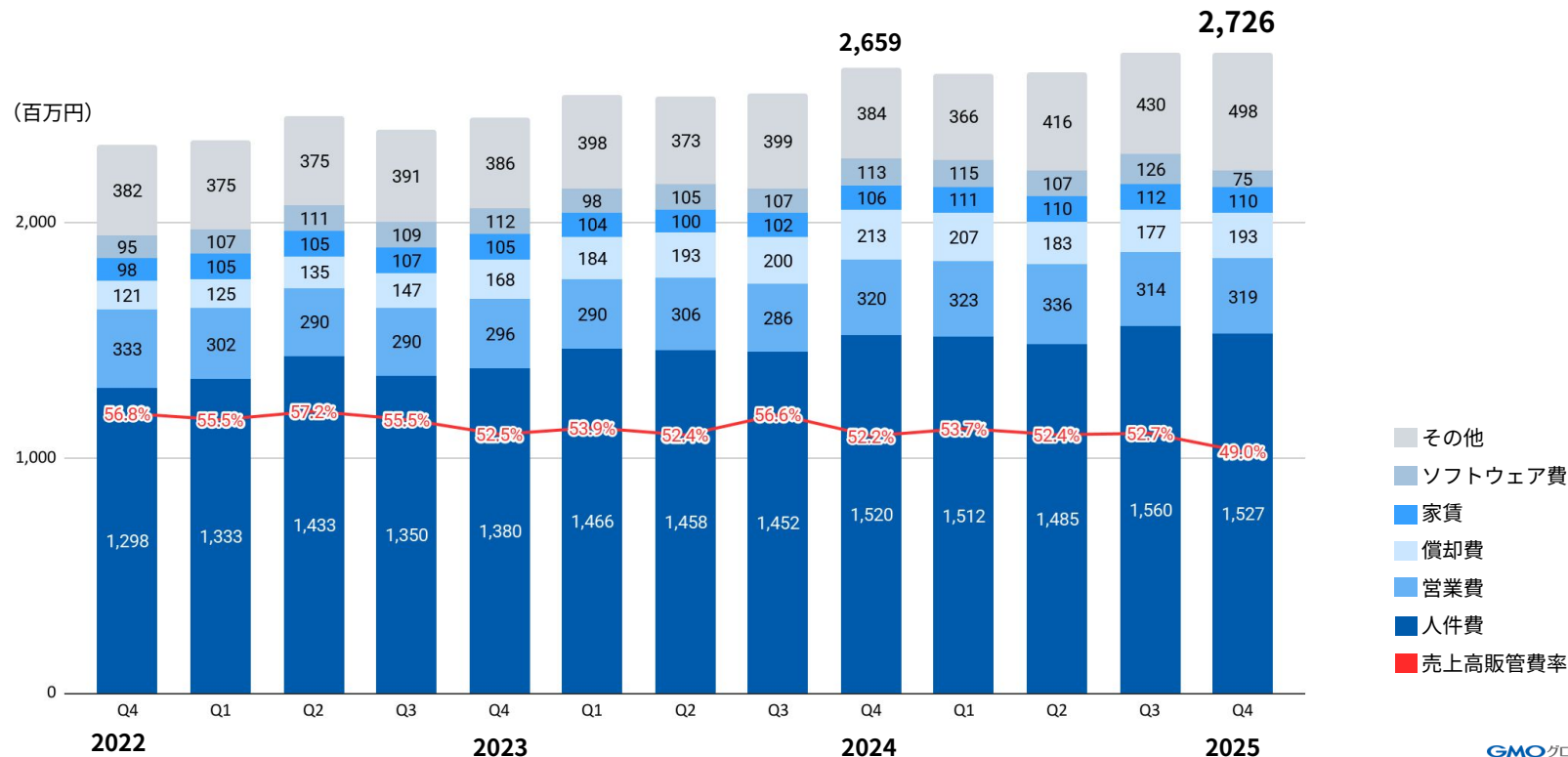


販売管理費及び一般管理費の四半期推移

販管費：27億2,600万円（対前年同期比 +6,600万円 +2.5%）

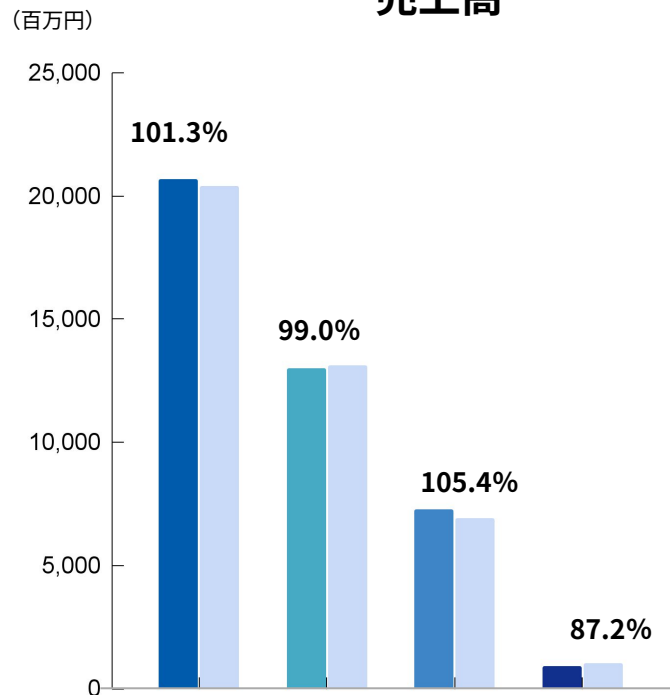
└人件費：15億2,700万円（対前年同期比 +700万円 +0.4%）

└営業費：3億1,900万円（対前年同期比 -140万円 -0.4%）

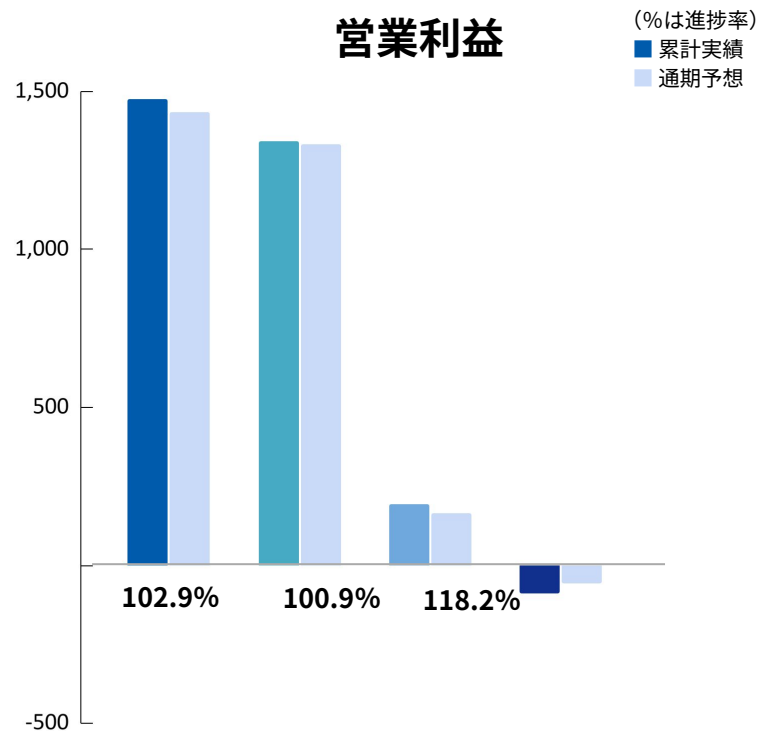


Q4セグメント別予想対比

売上高



営業利益



GMOグローバルサイン・ホールディングスの情報発信

“わかりやすく”をモットーに、さまざまなコンテンツを発信しています！



数字で見る当社、あゆみ。そして未来へ。
3分でわかるGMOグローバルサイン・HD



電子認証局って何するところ？生活のあちこちで活用されている、電子証明書をご紹介します



少し難しい当社のコア技術を解説しています。また、コア技術を活用した未来の研究へと続きます。



長期ビジョン-Next2040
私たちは信頼を設計し、世界をつなぎます



公式チャンネル
@GMOGSHD_JP



公式X
@GMOGSHD_JP



公式IR note



最新IR情報をお届け！
IRメールマガジン



GMOグローバルサイン・HD
GlobalSign

コーポレートサイト



免責事項

- 本資料の内容は、作成日時点において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢ならびに当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者がその他の目的で公開または利用することはできません。

当資料に関するお問い合わせ先

GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社 社長室

お問い合わせフォーム：<https://form.gmogshd.com/contact/ir/>